

Active

我孫子市立湖北小学校

研推だより

2025.10.29 No.10

発行者 菅家

今回のテーマ:第3回 校内授業研究会の振り返り

10月16日(木)に第3回目、4年生と1年生の授業研が終了しました。先生方、お忙しい中ありがとうございました。協議会で出た意見や大岡先生からご指導いただいたことを共有したいと思います。今回の授業研について、振り返っていきます。目を通していただけたら、嬉しいです。

<4年2組 小泉学級> 『およその数の表し方と使い方を調べよう』

本時は、概算について学び、お楽しみ会の計画を立てるという活動でした。

協議会での意見まとめ

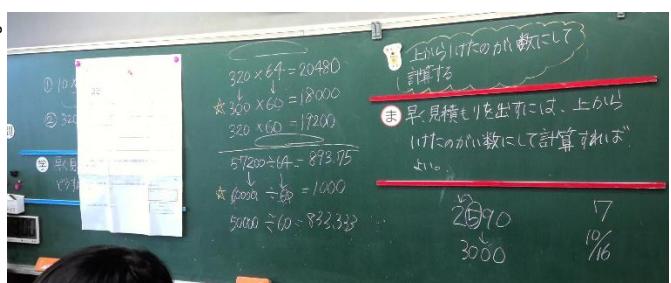
- 小泉先生の落ち着きすばらしい!!
- 学習のポイントをしっかり押さえていた。
- 概算のよさを学んだので、お楽しみ会の計画を立てるときには電卓は使わないよう声かけをするとよかったです。
- 本時の素材を「お楽しみ会をやります」にしてしまえば一貫性が出るのではないか。

大岡先生からのご指導

- ・児童が学びたいと思える導入を。
→日常生活に関連させる。今回のお楽しみ会①、
最初からお楽しみ会で使うものの写真を提示してもよかったです。
- ・素材から「?を生み出す」→学習問題を立てられる素材を。
- ・個に合わせた手立て(スマールステップ、ヒントカード)も大事。
しかし!!個別最適な学びは上位層を伸ばすことも大切。自分でレベルアップする児童を育てる!
- ・算数のループリック
→「知識・技能」の A 評価は単純でよい。



- 「思考・判断・表現」は①一つの方法で考えられたら B、②複数からどれがよいか考えられたら B、
③図や言葉を関連づけて考えられたら B など。
- ・何のために協働させるのか。
→多様な他者の異なる考え方が組み合わさると、
新たな見方が生まれる!!、
自分の考えを見直すきっかけになる!!



<1年2組 八幡学級> 『たしざん』

本時は、たまごを素材として3+9について考える活動でした。

協議会での意見まとめ

○導入のまんじゅうやにわとり◎、適用問題の工夫→子どもをひきつけるしきけがあった。

○自分の考えをもたせる(掲示物や前時のノート)→自力解決に必要なこと

○ノートの型がしっかり整っている。

○学習問題、まとめ、ふりかえり

…1年生でも自分で書ける!!積み重ねがしっかりしている。

○友達と発表し合う時間

…ブロックを操作しながら説明したり、ペアで確認したりするともっとよい。



大岡先生からのご指導

・説明する力→適用問題で説明できるかどうか、説明できればB評価

適用問題で計算できるかどうかは、「知識・技能」

・「はかせ」の扱い方→自分の「はかせ」はこれだ!!

どうして、それを選んだのか理由を言えるようにする。

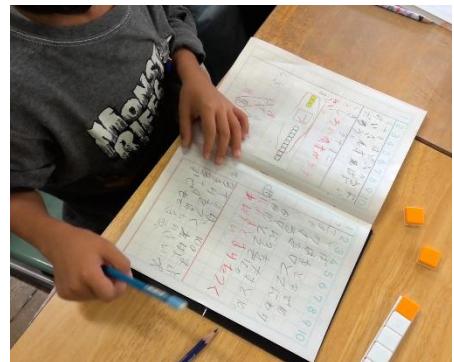
・「話す力」と「聞く力」を同時に育てることが大切。

→「聞き手」を意識して話す、「話し手」を意識して「聞く」

・学びが深まる接続語

…「なぜ」「でも」「たとえば」「もし」「つまり」「それなら」

→先生が意図的に使う!!児童に意識させ使えるようにする!!



ノートの使い方や学習問題、まとめ、ふりかえりは、毎日・毎時間の積み重ねがとても大切だと改めて感じられる授業研だったと思います。

毎時間のふりかえりは、「**主体的な学び**」「**記述する力**」にもつながっていきます。日々、どの学級でも取り組んでいきましょう。

残り半年になりましたが、湖北小の児童がより主体的に学ぶ力を身につけられるよう、これまでの授業研を日々の授業に生かしていきたいなと思います!!!

八幡先生、美濃先生・小泉先生、上野先生

おつかれ様でした!!!